

株式会社プロテックエンジニアリング

新潟県北蒲原郡聖籠町

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

国内初となる落石防護補強土壁は従来工法の10倍以上の優れた性能 業界内では珍しい製品開発、設計、製造、施工まで全て一社対応

落石、雪崩、崩壊土砂、土石流等の自然災害対策に関わる予防柵及び防護柵の設計・製造。1998年設立後産学共同研究開発を先進的に推進しながら、道路斜面災害のマーケット需要をいち早く取り込み新商品開発や新市場開拓を積極的に実施。自社工場に加え落石実験施設も有し、実験結果を設計手法に反映し製品の安全性を確保している。国外市場にもいち早く目を向け、これまでアメリカ、カナダ、イタリア、トルコ、韓国といった国々への製品輸出や業務提携等を行っており、各国の斜面災害マーケット情報収集を活発に行っている。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 新潟県北蒲原郡聖籠町大字蓮潟5322-26 | ● 設立 | 1998年 |
| ● 電話/FAX | 025-278-1551/025-278-1559 | ● 資本金 | 9,970万円 |
| ● URL | https://www.proteng.co.jp | ● 従業員数 | 98人 |
| ● 代表者 | 代表取締役社長 野村 利充 | | |



製品特性を生かし、トルコ、ブータンなど、海外新規市場へも積極的に参入

韓国には事務所を設立し、落石や土砂災害対策製品の継続受注を進めており、トルコでは雪崩対策施設の試験施工と技術移転を実施した。また、米国コロラド交通局やカナダ太平洋鉄道の委託を受けた現地の設計コンサルタント等とネットワークを有し、落石対策施設の設計業務を不定期に受注している。そして、道路インフラが脆弱で斜面災害が多発するブータンにおいて、物流や観光産業を支援すべく、落石対策施設の試験施工と現地普及活動を実施する計画である。



トルコで雪崩対策事業、雪崩予防柵を試験設置

地元大学との産学連携、地元企業資源の活用により地域経済活性化に貢献

部材の一部は地元燕三条を中心とした地元新潟県内金属産地部材製作下請け企業から調達しており、地域資源活用・経済活性化に貢献している。新潟県が比較的優位性を持つ斜面災害対策分野で、地元大学である新潟大学等と共同研究を行うことで、斜面防災対策技術や工法の開発など技術水準の向上に貢献している。同社製品は斜面災害被害が多発する新潟県で開発製品化されており、新潟県の産業振興に貢献したとして、「Made in 新潟 プラチナ技術」認定や、新潟県知事表彰「技術賞」受賞の実績がある。



「Made in 新潟(土木・建築)新技術展示会・活用発表会」の様子

徹底した実証実験など、安全性への強い意識で人々の「安全を創造」する

世の中に安心・安全を届けるという想いを込め、コーポレートブランドとして「安全の創造」を掲げるなど、「安全」に対する強い意識を持っている。製品開発に際して、長いものでは3～5年かけて実証実験を行い、安全性の確保に努めている。同社の代表製品「ジオロックウォール」は特殊繊維で補強した土の擁壁であるが、土はコンクリートに比べ効率よく衝撃を吸収するため、落石などを確実に受け止めることが可能。同製品の開発に際しては旧道路公団の技術研究所と補強土防護擁壁協会とで共同実験を行い、衝撃荷重特性を確認済。



極めて優れた衝撃吸収性能を持つジオロックウォール